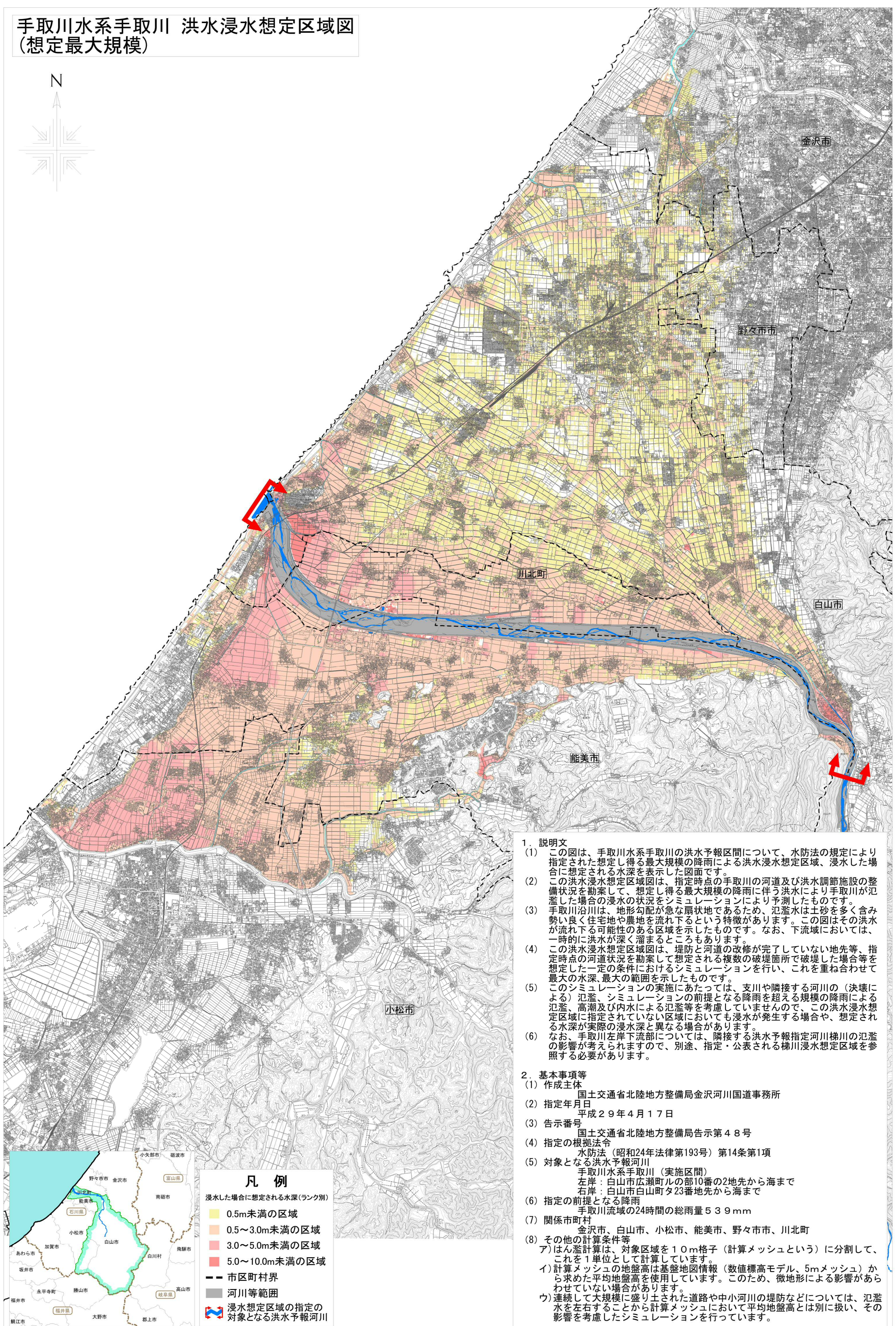
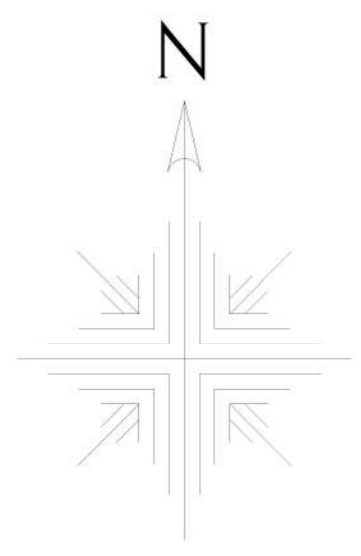


手取川水系手取川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



- 1. 説明文**
- この図は、手取川水系手取川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - この洪水浸水想定区域図は、指定時点の手取川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により手取川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - 手取川沿川は、地形勾配が急な扇状地であるため、氾濫水は土砂を多く含み勢い良く住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお、下流域においては、一時的に洪水が深く溜まる場所もあります。
 - この洪水浸水想定区域図は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、指定時点の河道状況を勘案して想定される複数の破堤箇所等破堤した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大水深、最大の範囲を示したものです。
 - このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
 - なお、手取川左岸下流部については、隣接する洪水予報指定河川梯川の氾濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表される梯川浸水想定区域を参照する必要があります。
- 2. 基本事項等**
- 作成主体
国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所
 - 指定年月日
平成29年4月17日
 - 告示番号
国土交通省北陸地方整備局告示第48号
 - 指定の根拠法令
水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
 - 対象となる洪水予報河川
手取川水系手取川（実施区間）
左岸：白山市広瀬町の部10番の2地先から海まで
右岸：白山市白山町タ23番地先から海まで
 - 指定の前提となる降雨
手取川流域の24時間の総雨量539mm
 - 関係市町村
金沢市、白山市、小松市、能美市、野々市市、川北町
 - その他の計算条件等
ア)はん濫計算は、対象区域を10m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。
イ)計算メッシュの地盤高は基盤地図情報（数値標高モデル、5mメッシュ）から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわれない場合があります。
ウ)連続して大規模に盛り土された道路や中小河川の堤防などについては、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。



凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域

--- 市区町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平28情使、第1167号）